

令和5年度 第2回 港区区政会議【安心安全・まちづくり部会】 議事録

- 1 日 時 令和6年2月26日（月）午後7時～
- 2 場 所 港区役所5階会議室
- 3 出席者（委員）対面：中西委員、西村委員、羽東委員、
村田（烈）委員、山岸委員
（関係者）対面：港警察署 木下氏、
淀川左岸水防事務組合防潮本部 原田氏
WEB：港消防署 牧野氏
危機管理室 金谷氏
大阪港湾局 藤田氏
（港区役所）対面：山口区長、若林副区長、西堂協働まちづくり推進課長、
細江エリア開発推進担当課長、五十嵐総合政策担当課長、
扇谷安全・安心まちづくり担当課長代理、
- 4 議 題
 - （1）議長・副議長の選任について
 - （2）令和6年度運営方針（案）について
 - （3）令和6年度予算（案）について
 - （4）弁天町駅周辺まちづくりビジョン（案）について
 - （5）その他

○扇谷協働まちづくり担当課長代理 皆様、こんばんは。定刻となりましたので、ただいまより令和5年度第2回港区区政会議安心安全・まちづくり部会を始めさせていただきます。

私は港区役所協働まちづくり推進課の扇谷です。どうぞよろしくお願いいたします。

港区区政会議につきましては、港区区政会議運営要綱第5条の規定により、3つの部会を設けていますが、本部会は防災・防犯、まちづくりに関する専門的な意見交換をいただくため開催させていただくものです。

早速ではございますが、会議に先立ちまして、山口区長から一言ご挨拶申し上げます。

○山口区長 皆さん、こんばんは。

平日のお仕事やまたご家庭のご用事でお忙しい時間にもかかわりませず、お集まりいただいて本当にありがとうございます。

本日は委員の改選後で、また防災・防犯分野に今まで地域コミュニティとかまちづくりについて話す部会がなくて、全体会で話すことが多かったんですけども、この分野も加えた安心安全・まちづくり部会として、初めての区政会議の部会開催となります。

委員の皆様からは、令和6年度の運営方針（案）、予算（案）並びに弁天町駅周辺のまちづくりについて、ご意見をいただきたいと考えています。

さて、今年は1月1日に石川県の能登地方で大きな地震と津波が発生しました。まさかあの時間に、元日って一番気が緩んでいるようなときに起こるということ、本当にショックも受けましたし、それぞれの備えを見直す機会にもなったかと思います。港区の職員も何人か、何度かに分けて実際に被災地に行って、避難所の応援だったり、保健師は家庭訪問に行ったりということで、被災地の支援に各種自治体が当たってはいるところですよ。

そういった中でも、やはり地域コミュニティが強いところは避難所の運営もしっかりやれているということで、いろいろ地域性もあるとは思いますが、港区の備えをより強めていかなければならないと思っています。

港区は南海トラフのやはりリスクがありますので、区民の方の備えも大事なんですけども、万博を機に多くのインバウンドの方も来られます。外国人観光客の誘導に関しましても、いろんな関係機関、また有識者、あと民間企業とかと連携しながら対策を考えていかなければいけないと思っています。

伝わる防災ということを心がけて、特に私が来てから一生懸命やっているんですけども、まだまだ伝わっていないところもあるかと思います。そこはもう地域の現状とか、周りで聞く声とか、ぜひとも今日は共有していただけたらうれしいなと思っています。

また、弁天町周辺のまちづくりビジョンを今策定に向けて様々意見交換をしているところです。今年度にはビジョンを策定して、令和6年度より大阪のニシの玄関口にふさわしい弁天町周辺のまちづくりについて取組を進めてまいります。

ぜひともこちらに関しましても、市岡商業高校跡地とか、また新たに土地区画整理記念・交流会館もオープンしますけれども、これから万博に向けて、またさらにその先に向けて、弁天町が大いに盛り上がっていくと思いますので、そこに関しましても、以前からお住まいの区民の方のご意見をしっかり聞いておきたいと思いますので、ご意見をよろしく願います。

本日はどうぞよろしくお願いいたします。

○扇谷協働まちづくり担当課長代理 ありがとうございます。

本日の会議の出席状況でございますが、委員の定数が8名のところ、ただいま4名のご出席をいただいております。

区政会議の運営の基本となる事項に関する条例第7条の規定による定足数2分の1以上を満たしておりますので、本会議が有効に成立していることをご報告いたします。

次に、本会議は公開としており、後日、配付資料とともに会議録を公表することとしております。会議録の作成のため録音させていただきますので、ご了承いただくとともに、ご発言の際はマイクをご使用くださいますようよろしくお願いいたします。

また、会場の様子はインターネット港区ユーチューブチャンネルで後日配信する予定です。

区政会議の見える化の推進といたしましての全区的な取組ですので、併せてご理解、ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

続きまして、本日の配付資料の確認をさせていただきます。

お手元に本日の次第、令和5年度第2回港区区政会議安心安全・まちづくり部会次第、それから資料一覧表、それから安心安全・まちづくり部会委員名簿、それから本日の配席図、それから弁天町駅周辺まちづくりビジョン（案）概要版、A3の折り込みカラーの資料でございます。それから弁天町駅周辺まちづくりビジョン（案）に対するご意見、それから区政会議事前意見内容と区役所の対応・考え方、安心安全・まちづくり部会に係るものの抜粋でございます。以上の資料につきまして、本日配付させていただきます。

また、先日、事務局より事前に送付させていただきました資料につきましても、本日の会議に使用いたしまして議事を進行してまいりたいと考えております。

皆様、お手元にごございますでしょうか。不足等がございましたら、おっしゃっていただけ

ればと思います。大丈夫でしょうか。

議事につきましては、次第のとおりでございますが、説明のほうは短めにさせていただきます。議論や質疑を長めに取ってまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

本日の部会は委員改選後、初めての開催となります。

本来であれば、委員の皆様方をご紹介させていただきたいところですが、時間の都合上、昨年11月の開催の新旧交流会でお顔合わせをいただきましたので割愛させていただきます。オブザーバーとして参加いただいている関係先の皆様をご紹介いたします。

港警察署、木下様。

○木下オブザーバー 木下です。お願いします。

○扇谷協働まちづくり担当課長代理 淀川左岸水防事務組合防潮本部、原田様。

○原田オブザーバー 原田です。よろしくお願いします。

○扇谷協働まちづくり担当課長代理 それから、なお、港警察署、牧野様、危機管理室、金谷様、大阪港湾局、藤田様におかれましては、ウェブのほうで参加していただいております。皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、議事に移ります。

議題1の議長・副議長の選任について、引き続き進行させていただきます。

区政会議の運営の基本となる事項に関する条例第7条で、議長及び副議長は、委員の皆様の互選により選任することとなっております。

また、同条で、議長は、区政会議を主宰する。副議長は、議長を補佐し、議長が欠けたとき又は議長に事故があるときは、区政会議を主宰することとなっております。

まず、議長でございますが、どなたか立候補またはご推薦ございますでしょうか。よろしくよろしくお願いいたします。いかがでしょうか。

○山岸委員 それでは、私、山岸と申します。

先日の顔合わせのときにいろいろお話しさせていただいて、楽しい時間を過ごさせていただいたんですけども、多分、今日来られている方は初めての方ばかりで、再度といいますか、2期目というのは、ひょっとすると、私ともう一人、今日はちょっとお休みの方だと思いますので、もし、どなたも立候補がされないようでしたら、私のほうでさせていただきたいなと思いますけれども、このようにちょっとあがり症でなかなかうまくはできないかもしれませんけれども、よろしいでしょうか。

○扇谷協働まちづくり担当課長代理 ただいま山岸委員より立候補いただきました。

皆様、いかがでしょうか。

ご異議がないようでしたら、拍手をもってご承認いただければと思います。

皆様の拍手によってご承認いただきましたので、議長は山岸委員に決定いたしました。よろしくお願ひいたします。

○山岸議長 よろしくお願ひします。

○扇谷協働まちづくり担当課長代理 続きまして、副議長でございます。

どなたか立候補、またはご推薦ございますでしょうか。

○西村委員 じゃ、やります。

○扇谷協働まちづくり担当課長代理 西村委員、よろしいでしょうか。

○西村委員 はい。

○扇谷協働まちづくり担当課長代理 ただいま西村委員より立候補がございました。

皆様、いかがでしょうか。

ご異議がないようで、拍手をもってご承認いただきましたので、副議長は西村委員に決定いたしました。

それでは、お手数ですが、それぞれ議長席、副議長席にご移動願ひます。

ありがとうございます。よろしければ、一言ずつご挨拶を願ひしたいんですけども、よろしくお願ひいたします。

まず、山岸議長のほうからよろしくお願ひいたします。

○山岸議長 それでは、山岸恵津子と申します。

三先のまちづくり防災・防犯部会の部長もやっております。あわせて、防災リーダーのほうもさせていただいています。前回は参加させていただいて、2期になります。どうぞよろしくお願ひします。

○扇谷協働まちづくり担当課長代理 ありがとうございます。

では、西村副議長、お願ひいたします。

○西村副議長 八幡屋で不動産業を営んでおります西村と申します。よろしくお願ひします。

今期から区政委員をさせていただきます。どうぞよろしくお願ひします。

○扇谷協働まちづくり担当課長代理 ありがとうございます。皆様、どうぞよろしくお願ひいたします。

それでは、ここからは山岸議長のほうに議事進行をお願ひいたしたいと思ひます。どうぞ

よろしくお願いいたします。

○山岸議長 それでは、皆さん、改めましてどうぞよろしくお願いいたします。

ここからは議長として進行役を務めさせていただきます。

皆様から積極的にご意見いただいて、活発な議論をしていきたいと思っておりますので、どんなことでも結構ですので、ご発言のほうどうぞよろしくお願いいたします。

では、早速ですけれども、議題2の令和6年度運営方針（案）について、そして議題3の令和6年度予算（案）についてを一括して区役所より説明をお願いしたいと思います。

○西堂協働まちづくり推進課長 協働まちづくり推進課長の西堂と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

それではまず最初に、議題（2）令和6年度運営方針（案）について、事前配付資料A-1、令和6年度港区運営方針（案）をご覧ください。

事前配付資料A-1、令和6年度港区運営方針（案）、お手元、大丈夫でしょうか。

それでは、事前に資料を配付させていただいており、お目通しいただいているかと思っておりますので、簡潔にご説明をさせていただきます。

当部会でご意見いただく部分につきましては、資料1ページ目の経営課題1「区民主体のまちづくり」、次に資料2ページ目をおめくりいただきまして、経営課題2「安全・安心・快適なまちづくり」、それから次のページ、資料3ページ目の経営課題5「訪れたい魅力と活力あふれるまちづくり」、以上、3つの項目でそれぞれの課題認識や主な戦略、課題解決の方策などについて記載をしております。

続きまして、事前配付資料A-2、令和6年度港区運営方針（案）主な戦略における具体的取組をご覧ください。

先ほどご説明した経営課題の主な戦略、課題解決の方策に対する具体的取組を記載しております。

資料1ページ目をご覧ください。

経営課題1「区民主体のまちづくり」、これにつきましては、自治会・町内会への加入促進ですとか、港区土地地区画整理記念・交流会館における豊かな地域コミュニティの醸成に向けた取組の支援、また地域活動協議会の自律的運営の支援などに取り組んでまいります。

続きまして、経営課題2の「安全・安心・快適なまちづくり」につきましては、安全・安心なまちづくりの取組として、地域防災力の強化や防犯対策の強化、また快適なまちづくりの取組として、バリアフリー基本構想の推進や弁天町駅周辺の回遊性向上の促進に取り組ん

でまいります。

3 ページ目をご覧ください。

経営課題5「訪れたい魅力と活気あふれるまちづくり」につきましては、港区エリア別活性化プランに基づく区内3エリアの特性に応じた中長期的なまちづくりの推進、地域資源を生かしたまちの活性化、魅力の発信に取り組みます。

続きまして、議題3に移らせていただきます。

議題(3) 令和6年度予算(案)について、事前配付資料B-1をご覧ください。A4の横になっている資料です。

事前配付資料B-1、港区関連予算(案)概要でございます。

1 ページ目に、令和6年度港区関連予算(案)として、港区全体の予算を記載しています。

2 ページ目以降に、令和6年度に重点的に取り組む事業を記載しています。

2 ページ目をご覧ください。

当部会でご意見をいただくところ、項目につきましては、2 ページ目の港区エリア別活性化プラン等の推進、それから3 ページ目に記載がございますが、コミュニティ育成支援事業が該当いたします。

続きまして、次に事前配付資料B-2をご覧ください。

区長自由経費令和6年度予算事業(案)一覧でございます。

こちらが港区が令和6年度に実施をする事業及び経費の内訳になります。

次に、事前配付資料B-3をご覧ください。

区CM自由経費令和6年度事業予算(案)一覧でございます。

こちらは港区シティ・マネージャー自由経費となっております。令和6年度に各局が港区で実施をするスポーツ施設ですとか公園・道路の管理運営などの事業及び経費の内訳となっております。

簡単でございますが、議題(2)、(3)の説明は以上です。ご意見のほどよろしく願いいたします。

○山岸議長 ありがとうございます。

では、ただいま説明いただきました議題2、3について、どなたかご意見ございますでしょうか。

私もちょっと事前に読ませていただいたときに、納得しながらそうなんだなと思って読ませていただいている、意見というのもちよとなかなか思いつかない感じのところもあった

んですけれども、こんな形で、予算はちょっと金額的なものがどうかなというのも少し分かりにくいところはありますけれども、たくさんのやはり予算がついているところはこれからどんどん前向きに事業として進めていくところなんだなと思いながら見させていただきました。

どういうところからでも結構なんですけれども、何か思いついたところとかがございましたらお聞かせいただいたらと思います。

ではちょっと続いて、私ばかりしゃべらせてもらってなんなんですけれども、実は昨日、うちの地域、三先地域のほうで避難訓練をさせていただいていました。コロナ明けで久しぶりだったんですけれども、雨ということもあって、参加していただいた方は、でも六、七十人、実は安否確認をして、その用紙を町会長さん、憩いの家のほうでさせてもらったんですけれども、そこに持って来ていただくというような形でさせていただきました。

自分たちの地域で、今年はこの形でやっていこうと進めてやっていったんですけれども、そのときにとっても参考になったといいますか、頼りになる方がいらっしゃるって、防災アドバイザーの方にとってもいろんな指導もさせていただきました。もちろん、区役所の方も親身にすごくしていただいたんですけれども、困ったときどういうふうに進めていこうかなといったときに、そういうアドバイスをしてくれるという人がいらっしゃると、すごくこの避難訓練だけじゃなくて、防災学習会もそうだったんですけれども、すごく進めやすいなというのをすごく感じまして、この今回もいろんなまちづくりに関することがそういう区役所と自分との間にといいですか、そういうアドバイザーの方がいるということとはとてもありがたいなと思って、今回すごく、2年ぐらい前からアドバイザーの方がいらっしゃるんですかね。そういう方をつけていただいたということはありがたいなと思っています。

きっとほかにも、これは防災のほうの話なんですけれども、ほかにもきつこういう、やっぱりプロフェッショナルといいますか、いろんな方のお力というのはすごく大きいなと思いますので、ひょっとすると今ここに来られているこの中にいらっしゃる方もそういうアドバイザーではないんですけれども、専門的な知識をたくさん持っている方がいらっしゃると思いますので、どんなことでも、これやったら私、よく分かっているわということもおっしゃっていただきましたら、今回の議題には、ひょっとすると直接は関わってこないかもしれませんが、それはそれで次のステップにすごくいい考え方とか伸びができるんじゃないかなと思いますので、どんなことでも結構ですので、今みたいな私のようなお話でも結構ですので、ひとつ案をいただけたらありがたいなと思います。

どうぞ。

○村田委員 すみません、遅れてきてちょっとあれなんですけれども、予算を見ていて、1つなんですけれども、去年と今年とすごい上がっているところといたしますと、まず管理運営事業、区民センターと近隣センターの維持管理経費がめっちゃ上がっていますよね。これに関してですけれども、港区民センターって閉めるんですしたっけ。

○西堂協働まちづくり推進課長 この3月25日をもちまして、一応閉館という形になりまして、弁天町のところにございます交流会館の中へ移転をいたします。

○村田委員 これは交流会館のことも含めての運営管理事業費ということで予算案が上がっているということですよ。

○西堂協働まちづくり推進課長 はい、そうです。

○村田委員 そうですよね。

あともう一つでいうと、活性化プラン等、各エリアの特性に応じた中長期的なまちづくりをというのが1.8倍ぐらいですよ。これは具体的にどういうことですか。

○細江エリア開発推進担当課長 エリア開発推進担当課長の細江です。

こちらのエリア別活性化プラン等の推進の具体的な内容なんですけれども、今日の議題の項目にもあります弁天町駅まちづくりビジョンにつきまして、今年度（案）ということで今、パブリックコメントもしている最中なんですけれども、これに基づく取組の一環として、例えば市岡商業高校跡地、あそこを活用するに当たって、その例えば都市計画の手続が必要であるとかになった場合の検討調査の業務に予算として計上しているのと、エリア別活性化プラン、3つのエリア、東部、中部、西部、それぞれ今のエリア別活性化プランが令和7年度までの目標を掲げた計画になっているんですけれども、万博以降、持続可能なまちづくりに向けて、次のIRに向けた取組に向けた再構築、そういったところの調査的な業務をこの中で対応できたらなと思っています。大きくはそういう中身になっています。

○村田委員 ありがとうございます。

もう一つ聞きたいことがあるんですけれども、近隣センターというのは、あれはどこか委託されているんですよ、運営を。

○西堂協働まちづくり推進課長 はい、港近隣センターにつきましても、港区民センターと近隣センターという港区役所の附設会館という同じ位置づけの建物になりまして、今現在、大阪市コミュニティ協会のほうが指定管理者として運営を担っていただいております。

○村田委員 いや、昨日、実は使用したんですけれども。

○西堂協働まちづくり推進課長 ありがとうございます。

○村田委員 近隣センターがおじいちゃんやったら早く開けてくれるけれども、そうじゃなかったら全然、僕も間違えて9時から借りていると思ったら9時半からやったんですよ。あそこ、皆、バーツと雨降っていたじゃないですか、昨日。男の人が来はって、ごめんなさい、ちょっと寒いので開けてもらえますかって言うたら、ああ、無理ですって言われたんですよ。後で何人か違うところを借りられる方がいてはって、あのお兄ちゃんは絶対開けてくれへんと、おじいちゃんやったら開けてくれるという。その開ける、開けへんというわけじゃないんやけれども、それやったら9時半って決めたらいいのにとかと思って。誰かが開けるからそういうことになるし。いや、分かるんですよ。寒いし雨降っているし、いつもは先に開けてくれるのにというのもあるしと思って。あれやめたらいいのになって、僕、それやったら9時半まで開けませんにしたらいいのになと思って。ただそれだけです。ただ気がついたから、それました。

○西堂協働まちづくり推進課長 ご意見ありがとうございます。

○村田委員 あと、防災についても、僕ちょっとこの週末、今日もそうですけれども、港区に住んでいる外国人と会うことがすごく多くて、防災のことをどう考えているのって聞いたら、何も考えていないと。そんなこと、国とかが考えていること自体がおかしいと言う。何でかというたら、彼らは自分の身は自分で守ることがあれだから、別にサインがあったらどう、あれがあったら、いや、それはそうだけれどもというのを、でも地震が来たり、津波が来たりとかしたら、自分の身は自分で守るし、それで死んだら仕方がないという外国人が、アメリカ人ですよ、ほとんどがアメリカ人ですね、ごめんなさい、が結構多かったです。自分の身は自分で守りましょうという。

○山岸議長 ありがとうございます。

いろんな意見が聞けるということはすごくいいことやなと思いますし、基本、やっぱり自分の身は自分で守るということ、あとちょっと余力があったら共助の部分でというのが日本人といいますか、私らの気持ち的にはあるんですけども、でも本当に自分の身は自分で守るというのがあれば、どなたも本当にもっと積極的にいろんなことを考えて準備もしてもらえるので、それはそれでありがたいなと思います。ありがとうございました。

○羽東委員 弁天から来た今年から来ています羽東と申します。

昨今、コロナがあるときには、さほど討論せず、皆さん、お家のほうに引っ込んでいて、事業、活動も何もないんです。今後、万博のことに乗じていろいろ外国の方々の動きとか活

動も表立ってよく見えるというか、歩いていらっしゃる方もいますけれども、お会いなされる方もたくさんあると思うんですよ。それぞれの国でそれぞれのやり方もありますし、日本は日本で考えることですが、一応、日本の国として、海外からも称賛されるようなきちっとしたやり方を進めるということの基礎を区役所というか、公のところが基盤をつくるということで、今始まっているんだと思うんですよ。もともととしてはいけないのに、コロナがあったために停滞するというか、以前に戻ってしまっているんで、ここを何とか底力を持って、これですというのをつくり上げなあかんと思うんですよ、やっぱり。年寄りが多い港区です。それにもまして子育てを頑張ろうと言っているところですので、子育て世代の方々にも安心して仕事ができるというように。多方面のことがあって難しいとは思いますが、何とか私としては日本の国という基盤をもって成し遂げたいと思うので、先ほどそういう専門家の方のアドバイスとおっしゃっていましたので、私は何も分からない状態です。一から勉強させてほしいと思っておりますので、そういう方の活発なご意見、お話が聞けたらいいなと思っておりますので、ちょっと脈絡としてまとまりがございませぬけれども、ひとつ考え方として聞いていただければありがたいと思っております。

○山口区長 せっかくご意見をいただいたのでちょっと。外国人の方の対応というか、コロナが明けてから非常に増えています。転入してきて住まれる方もいます。外国から働きに来られる若い方が多くて、アメリカの方とか、特に築港はUSJで働くエンターテイナーの方が多い。150人ぐらいいらっしゃると聞いていて、欧米の方がそちらは多いです。あと一方で、中国の方が実は人数的には一番多いというのが港区の状況です。続いて、いわゆるベトナムとかネパールとかアジア圏の人たちも増えてきています。

自分の国に地震と津波があるような国ばかりではなくて、国によっては本当に地面、私たちは震度3に慣れていますが、震度3で本当に心からびっくりしてパニックになるような方もいらっしゃいますので、いかに正しい知識を伝えるか。あと、手っ取り早い話でいくと、大阪防災アプリというのがありまして、これが多言語化しています。英語もあれば中国語もあれば韓国も入っていますので、近くの方に、もちろん、外国人の方にまずコミュニティがありますので普及させることがすごく大事で、使い方とか見方とか、あと、いざというときにやっぱり3階以上に114分以内に、地震があったら津波が来るまで、おおむね南海トラフは114分と言われているので、1時間後ぐらいで何とか逃げたいという、逃げる場所を決めておいてくださいねということも含めて、しっかり誘導しないといけないと思っておりますので、またその誘導がうまくいく場所と時間帯によっては非常に混み合ったりと

か、万博のときはものすごくたくさんの方々が来られるということで、そういったデータとかも見ながらしっかり備えたいと思います。またいろんなご意見をお願いいたします。

○山岸議長 ありがとうございます。

また次の議題もありますけれども、今、この議題2、3については、ほかにご意見ございますでしょうか。よろしければ……

どうぞ。

○西村副議長 すみません。予算案のB-2の7番目の空家等対策推進事業のところなんですけれども、職業柄というか、私、大正区の空き家相談員登録をしまして、空き家相談会を大正区は年に何度かやっているんですけれども、港区はやらないのかなとちょっと思っていますね。予算も25万9,000円ということで、非常に低予算なのかなと。4月1日から相続登記の義務化も始まるし、やっぱりこれは空き家を持っている人にとっては非常に大きなターニングポイントじゃないのかなというところもあるんですけれども、何か区役所さんとして相談会なり、空き家に対するもう少し告知というか、空き家に対する人たちへの郵送、広報以外に考えていらっしゃるかなということが気になりました。

○西堂協働まちづくり推進課長 ご意見ありがとうございます。

本当に港区のほうでも空き家のご相談というのはたくさん寄せられておまして、特に今現在住んでおられないとか、周辺の地域の方からご一報いただいて、それで初めてこちらも気づくというパターンも結構ございます。現状としましては、本当に先ほど西村委員がおっしゃったように、何か相談会を開催するということまではちょっと正直至っていないところでございます。本当に日々ご相談いただく中で、職員が現地へ行って、誰の所有か分からない状況からいろいろ登記を取り寄せたりとか、住民票を遡ったりと、本当に地道な作業をして、今年でもそうやって何とか15件ほど、ちょっと是正に持っていったという実績がございます。本当に職員、正直、そちらのほうへ手を取られているような状況で、先ほどちょっと指摘のあったそういう相談会ということまでは正直至っていないようなところでございます。

予算につきましても、内容的には年に1回、区の広報紙のほうで特集号を組んでおまして、そこにちょっと啓発に力を入れていたりですとか、先ほど申し上げました戸籍ですとか、所有者への通知、これは全て郵送でという形になりますので、そういった通信運搬費ですとか、ちょっとそういう経費だけの計上になっております。

西村委員からもそういったご意見をいただきましたので、そこも含めて、来年度の港区の

空き家の対策の状況も見ながらいろいろ考えていきたいなというふうに思っております。ご意見ありがとうございます。

○山岸議長 ほかによろしいでしょうか。

ありがとうございました。では、議題2と3については以上です。

では次に、議第4の弁天町駅周辺まちづくりビジョン（案）について、また区役所さんより説明のほうをお願いしたいと思います。

○細江エリア開発推進担当課長 エリア開発推進担当課長の細江です。

こちらの議題4の弁天町駅周辺まちづくりビジョン（案）につきましては私のほうより説明いたします。

お手元の資料の概要版のA3のカラー刷りの分とビジョン（案）に対するご意見というA4の紙がお手元にあるかと思しますので、そちらのほうのご説明をいたします。

ビジョンの案の概要版ということなので、実際のビジョン（案）につきましては本編と資料編ということで、ページ数も多い資料になっていますので、本日は概要版に沿って説明いたします。

委員の皆様もご承知のところだと思いますけれども、弁天町駅につきましては、Osaka Metro中央線の大阪環状線の交通結節点として、特に万博の会期中には非常に大変多くの方が利用される駅となっているところです。また、JR弁天町駅とか、Osaka Metroの弁天町駅も今はリニューアル工事、大規模な改良工事も鋭意進めているところでございまして、そういった万博を契機としたこのエリアの活性化については、非常に現時点でも取組を進めていけない状況になっていることを認識しているところです。

一方で、国道43号線のほうがエリアを分断して、横断の改善の課題が長年あったり、特に市岡商業高校跡地が閉校から10年経っても、現状まだ活用されていない状況もありまして、こういった未利用地の活用につきましても、区としても課題として取り組んでいるところでございますが、こういったいろいろな弁天町の課題もそれぞればらばらするのではなくて、エリアとしてのまちの方向性、ビジョンというのもまとめて、いろんな関係者が、区民、事業者、行政が一体となって、まちの将来像を共有して、協働して弁天町駅周辺のまちづくりを進めていこうということを目的として検討会のほうも立ち上げまして、こういう形で案として一定まとまってきた状況になっています。

現況とかにつきましても、まちづくりの特徴とか、こちらにつきましても、本日はあまり時間もないので、説明のほうは少し割愛したいと思いますけれども、特に交通結節点として

の弁天町のポテンシャルとしては、ニシのベイエリアと大阪の都心部をつなぐちょうど結節点の場所であるという弁天町のポテンシャルを生かすために、ニシの玄関口として、これから国内外の方、多く訪れる方々にもしっかりと受け止めて、まちのエリアの活性化、ひいては港区全体の活性化にもつながるようなまちづくりを進めていけたらということでまとめたのがまちづくりのコンセプトになります。

表面の右側のほうになるんですけれども、まちの姿につきまして、6つの項目でコンセプトとしてまとめまして、「世界にひらかれたニシの玄関づくり」、また「居心地よく歩きたくなる空間づくり」といった場の形成、それから「水・みどりのある暮らし豊かな環境の創出」、「安全安心の充実」といった環境の取組、さらに人の切り口としまして、「多文化共生によるまちづくり」、「文化・産業を発展させる人の掘り起こし・育成」、そういったコンセプトに基づきました重なりのあるまちづくりをすることで、大阪のニシの玄関口にふさわしい拠点形成を目指していきたいと考えております。

裏面に移りまして、弁天町駅周辺の空間形成の方向性として、駅を中心として、特に大阪ベイタワーを中心として、国際拠点のベイエリアとの連携強化を図るエリア、また市岡商業高校跡地や港区土地区画整理記念・交流会館といった地域の交流拠点の形成強化、特に市岡商業高校のところは国際拠点のベイエリアとの連携と地域交流拠点双方が重なり合うような複合的なまちづくりを進めていければということで、こういうエリアのイメージをまとめておるところです。

また、この拠点形成を合わせて周辺ににぎわいが広がっていくようなエリアリノベーション、今あるまちの資源もうまく活用しながら、弁天町エリアが一体となったまちづくりの方向性を案として今まとめたところになっています。

また、もう一つ大きな課題としての回遊性の向上につきましては、国道43号線の横断改善というのが長らく課題となっておりますが、バリアフリー基本構想で掲げている取組を継続性を持った取組を進めながら、特になかなか物理的に段差解消が難しい歩道橋の改善、歩道橋の段差解消とか、そういったところは難しい部分が残っていますが、そういったところは回遊性を高めるためのモビリティの活用とか、シェアサイクルといったそういったモビリティも活用したような形で、エリア間の分断を回遊性を高めるような一体感のあるような取組も進めていけたらということで、図面のほうで表したところなんです。

取組イメージのほうにつきましても、場、環境、人それぞれの項目に対応した取組としまして、こちらのほうに項目として掲載しておりまして、特に世界に開かれたニシの玄関づく

りというところがございますと、ベイエリアに訪れる多くの人の流れをしっかりと弁天町で受け止めて、港区が通過点にならないような取組を弁天町でしっかりと築きまして、にぎわいの強化につながるような未利用地の活用を進めていけたらと考えております。

また、特に水・みどりのある暮らし豊かな環境の創出につきましても、市岡商業高校跡地につきましても、地域の方々からも、うるおいのある空間であるとか、子育て層を支援するような取組、市岡商業高校の跡地なんかをうまく活用して、地域の交流拠点になるような取組をここで展開できたらなということでこちらのほうにも記載したところです。

また、安全安心のところは引き続き、防災の向上に向けた取組も継続するとともに、スマートモビリティとか、そういった新しい移動体の活用なんかもしながら、エリア間の移動円滑化も推進できればということで、ビジョン案としてまとめたところです。

続きまして、多文化共生によるまちづくりにつきましても、外国人、居住者も含めて非常に増えてきているのが現状ですので、またそういったところの多文化共生の推進につきましても弁天町が率先して取り組むようなそういった取組も進められればと考えているところと、また町工場とか、まちづくり、これまで港区の産業発展を牽引してきたエリアでもありますので、そういったところの産業文化なんかの取組をさらに発展させるような人の掘り起こし、人材の育成という観点の取組も弁天町エリアで展開できたらと考えているところです。

また、こういったロードマップにつきましても、大まかな実施の目途、見込み、実施時期につきましても、こちらに対応するような形で、万博までの短期、I R開業までの中期、その後の長期といったところの時間の流れの中で主立った取組の方向性、どの時期にどういったことをするかというのも案として示しまして、こういったところでまたいろいろなご意見をいただけたらなと思っております。

こういったビジョンのほうにつきましても、本日からパブリックコメントということで、区民の皆様、区政委員の皆様も含めまして、ご意見を承りたいなと思っておりますので、こちらのほう、こちらの紙のほうにも記載していただくことも可能なんですけれども、裏面にQRコードのほうも掲載してまして、ホームページのほうにも本編を含めて公開を本日、行っておりますので、このページのほうからメールでの提出、ご意見をいただけますので、こちらのほうのQRコードも活用していただきながら、本編のほうもまたお時間のあるときにご覧いただければありがたく存じます。

本日、時間があまりない中で、ちょっと簡単な説明になりましたが、このビジョンにつきまして、現時点の内容でも結構ですので、ご意見をいただければと思います。どうぞよろし

くお願いします。

○山岸議長 ありがとうございます。

それでは、どなたかご意見ございますでしょうか。

どうぞ。

○村田委員 これを見てみると、物すごくいろんなことが書かれていますよね。コンビニエンスストアのようにいろんなものを書かれていますけれども、どれが一番軸なのか、何が軸なのか。いや、これみんな書くことなんですけれども、何が軸で何がどうなるかということが分からないと、なかなかぼけて、結局ぶれて、はい、終わりますみたいな感じにはならないかなと思っています。僕、Osaka Metroのことも西村さんと一緒にいろいろやりましたけれども、結局、何が軸なのかというのが全く分からないというのが一つのあれです。いっぱいいろんなことを書いているんですけれども、これがじゃ、全部履行できるかというたらなかなか難しいし、これ履行したところで、じゃ、人が寄ってくるのか、人が住むのかというたら、また全然違う方向性のことやと思うんですね。いろいろ学校の統合とかいろんな問題もあるし、廃校になるエリアもいっぱいあると思うんですけれども、区長はもともと生野区でいろいろ廃校のことをいろいろやられていたんですから、港区でもそういうことが、これとは別に、これも含めてですけれども、市岡商業高校跡地もありますので、されるのかどうなのかというご意見をちょっと聞いてみたいなということです。

○山口区長 そうですね、まずは今、学校適正配置、いわゆる再編で空く予定になっている学校については、来年度調査もしまして、あと地域の方も入って検討会というのを個別に立ち上げます。築港中学校なら築港中学校の跡地検討会議、またちょっと年度が令和11年に小学校が空きますので、ちょっと何年か空けてになると思うんですけれども、直近じゃないと正確な金額が出ないというのもありますし、社会情勢が変わる可能性があるので、多分令和9年ぐらいに跡地の検討会議を立ち上げる形になるかなと思っています。

その大前提としてのどの校舎が使えるか。例えば講堂がかなり老朽化していて無理ですとか、そしたらそれを前提でまた組み立てないといけない。防災機能、防災の拠点としての機能は絶対に残しますというところ、あとは地域の活動をどうやって担保するかみたいな話合いになってくるところです。

基本的には残して、できるだけ貸して活用するという生野区と同じやり方、その中に地域の方が例えば生野の場合は、御幸森小学校に関しては、やはりコアタウンの近くで歴史のある場所ですので、多文化共生の拠点にしてほしいというニーズがあったので、その声を受

けて跡地活用計画というのを作って、それに基づいて事業者の公募をしたという形になります。残りの林寺とか生野というところは、学校にしてほしいというニーズが大きかったです。それは避難所にするときにやっぱり学校の後は学校が入るほうがスムーズなのでということでインターナショナルスクールがそれぞれ入っていますし、もう1校、生野南小学校は専門学校岡崎学園が入っています。それぞれまた地域の餅つきとかに使ったりとか、いろんな地域と一緒にまたやっていっているところですけども、全部が港区バージョンに適用できるかというところ、そこは分からないところなので、その都度、都度、話していきます。

市岡商業のこの辺、やっぱりビジョンはビジョンなんですよ。大きく、どうしても、いろんな可能性をなくさないように書いとくと、今決め打ちするには、さすがにこれから例えば事業者が本当に手を挙げてくれるのかとか、そういったところも考えると、可能性を残しておきたいというところで、かなり幅広にいろんな人の意見を聞きながら、ふわっとしている感じを受けるかもしれないんですが、そうした意図があります。

大きなポイントとしては、でもこの環境のところの3に水・みどりのある暮らし豊かな環境の創出して、皆さん、弁天町にあまり緑のイメージがないと思うんですよね。あえてここに緑を入れているというのは、やはり市岡商業高校のちょっと木が生い茂っている辺りとかを残してほしいという地域の声もありますし、あそこにやっぱり緑の空間があったら、商業施設から人が流れてきて、でも住環境のほうに広がっていくという流れが重なるというのがコンセプトなので、場が重なるという意味で、やっぱり緑が欲しいなというのもあったのと、あとは弁天埠頭まで最終的に行き着いたらいいなという、弁天埠頭はどうしても今、寂れてしまっていますので、何とか開発とかが進んで発展していったら弁天埠頭がにぎわったらいいなということで水という要素も残しているというところがあります。

本当はぱしっと、これで行くねんと言いたいところですけども、言うと、ほかの可能性が薄れるということで今こんな感じでございます。でも、ご意見はいっぱいいただけたほうがいいですし、実践をいろいろやる中で、やっぱりこの町にふさわしい、このエリアにふさわしい使い方というのが見えてくると思います。

ただやっぱり一番怖いのは結局、どこからも手が挙がらないというのが一番怖い。使いたいという事業者が出てこなくなる、そのリスクというのは実は今も既にあるというか、2030年までは大手の建設会社は仕事がいっぱいですなと、要はコロナ明けにぶわっと仕事が入ってきて、いっぱい仕事あるし、あと人手は足りないし、資材は高騰しているしという中で、またずるずると長くなるのは避けたいなという思いもありますので、まず一旦ビジョンを出

して、あとちょっとマーケットサウンディングとかをしながら固めていきたいなと思っています。

合っていますか、細江さん。

○細江エリア開発推進担当課長 ちょっと区長の答えていただいたとおりかなと思うんですけども、ちょっと少し補足しますと、あくまでもやっぱりビジョンなので、まちづくりの方向性を共有するツールとして活用できたらなと思っています。

個々の取組、行政だけじゃなくて、当然、住民の方とか地域の企業の方とか、自分だったらここやったら関われるとか、ここやったら一緒にまちづくりできるねとか、そういう対話するためのツールとしてうまく活用できたらなと考えています。

○村田委員 ありがとうございます。

○山岸議長 ありがとうございます。

私的にはね、これはまたちょっとずれているかもしれませんが、港区のいいところというのは、中央大通りも含めてですけども、道が広いので自転車は結構気持ちよく走れるというところがすごくいいなと思っていますので、そういうところが進んでいったらいいなと思っています。

ただ一つ心配に思っているのは、今日は警察の方も来られているんですけども、43号線の事故は今もやっぱり多いんでしょうか。あの辺がうまく自転車、もちろん下を通過して通行するようにはなっているんですけども、あの辺がネックになる。あの辺がもっとずっと事故とかが少なければいいなと思っていますので、もし、お話を聞くことができましたら、あの辺の事故は今どんな感じなのかというのを教えていただければと思います。急ですみません。

○木下オブザーバー すみません、交通課ではないので、ちょっと詳しい数値は分かりません。ただ、死亡事故という点では、去年もゼロで今のところもゼロですので、確かに人身事故という点では、コロナが明けてから増えているというふうには聞いております。

以上です。

○山岸議長 ありがとうございます。

ほかに今のこの件でご意見ございますでしょうか、まちづくりビジョンの件で。

もしなければ、すみません、時間が私も配分が下手くそで申し訳ないです。次まだございますね。もし、この今の弁天町駅周辺まちづくりビジョンでご意見がもしないようでしたら、次にいこうかなと思っているんですけども、すみません、ちょっと駆け足になって。もし

ご意見がある方でしたらどうぞ。

もしなければ、次の本日配付資料にありました事前意見内容と区役所の対応・考え方について、また議題5、その他として、区役所さんのほうからご説明いただきたいと思います。

○西堂協働まちづくり推進課長 それでは、(5)その他につきまして、本日お配りの事前意見内容と区役所の対応・考え方についてご説明させていただきます。

この部会におきましては4つのご意見をいただきました。誠にありがとうございます。

私のほうから、西堂のほうからは、番号1と2についてご説明させていただきます。

まず1点目、弁天町駅前のひまわりの壁画の落書きを消してほしいですということで、弁天町駅JRの高架下に壁画がありまして、そこに今現在、ひまわりの壁画が描かれているんですけども、その落書きにつきましては、この間、修復用のペンキですとか、備品購入の見積りがちょっと整わなく不調になりまして、また予算がちょっと組めない、工面できないといった状況もございまして、今現在に至っているところでございます。来年度、令和6年度になってしまうんですけども、再度、修復用ペンキ、備品購入の予算調整並びに購入手続を進めさせていただきますして、消去・修復作業について行っていきたいと思っております。なお、今現在描かれたひまわりの壁画につきましては、港高校の美術部の方にご協力をいただいて描いていただいたものですので、改めてご協力をお願いしながら、JR西日本にも再度許可を得ながら作業を実施する予定にしております。

2点目です。全国的に問題になっている町内会等における加入率低下や担い手不足の課題を挙げていますが、なぜそのような事態になっているのかということとその課題に対する具体的な方策はどのようにお考えでしょうか。なぜ抜けたがる、入りたがらないかの理由と対策が必要かと思っておりますというご意見です。

この件につきましては、町内会等における加入率低下や担い手の不足の理由は複数考えられると思っております。主に高齢化・都市化・情報社会の進展等による地域社会におけるつながりの希薄化が挙げられるかと思っております。また、若い世代を中心に転出入が多いですとか、若い世代、子育て世代の町内会等への認知度の低下、加入による金銭面ですとか、いわゆる役割を与えられて等の労力面の負担への不安などもあるかと考えております。

こういった課題がある中で、具体的な方策としましては、この間、ずっと広報紙、区ホームページですとかで、いわゆる活動の魅力について情報発信をさせていただいたりですとか、今はSNS、オンライン、いわゆるそういうインターネットを活用しながら、気軽に町内会加入に関してご意見、質問を受けつけたりとかというフォームを作成したりとか、あとその

フォームにつながるQRコードを掲載したチラシですとか啓発グッズというのを作成させていただいたりしております。また、転入者の方には、区内での様々な行事等の機会において、チラシや啓発グッズというのを配布させていただいております。また、大規模マンションが建設される場合には、事前に管理組合等への町会加入の働きかけといったものを現在行っております。加えまして、令和5年度中、今年度中に大阪市町会加入促進戦略というのが大阪府で策定される予定でございます。来年度以降、各区24区内におきまして、具体的な町会加入の取組を示すアクションプランというのを策定する予定になっておりまして、そういったプランを策定しながら、様々な方法で町内会等への加入の支援の取組を進めていく予定としております。

私からは以上です。3番目以降はまた別の担当からご説明させていただきます。

○細江エリア開発推進担当課長 では、3番目の港区エリア別活性化プラン等の推進について、港区の各エリアの特性とは具体的に何になるのでしょうか。同じく、具体的な地域資源とは何が該当するのでしょうかといった事前にいただきましたご意見につきまして、エリア開発推進担当課長の細江より、区の対応・考え方を説明いたします。

港区エリア別活性化プランにつきましては、令和7年の万博開催という絶好の機会を逃すことなく港区の活性化につなげるために、区内に通っていますOsaka Metro中央線の弁天町駅、朝潮橋駅、大阪港駅の各駅を中心としまして、それぞれ東部、中部、西部という3つのエリアに分けまして、各エリアの特色を生かしたまちづくりを推進することを目的として、令和3年4月に策定いたしました。

各エリアの特性としましては、東部エリアにつきましては、やはりここは弁天町駅ということで、都心と湾岸をつなぐ交通結節点として、先ほどビジョンの説明と重複しますがけれども、こういう立地を生かした都市機能の強化とにぎわい・魅力を創出といったところがまちの資源でもあり、具体的な取組といたしますか、地域資源かなと考えているところです。また、都心居住の持つ利便性の高さといったところとあわせて、良好な地域コミュニティをベースとした災害に強い安全安心なまちづくりといったことも推進していくということで、エリア別活性化プランのほうにも掲げているところです。

続きまして、中部エリアにつきましては、朝潮橋駅を中心とするエリアになりますけれども、やはりここは緑豊かな八幡屋公園というのが地域の一番の資源と認識しているところです。また、良好な居住地としての魅力づくりとあわせまして、商店街もありますので、こちらの活性化の取組との相乗効果によりまして、エリア全体をリ・ブランディングということ

で表現していますけれども、まちの資源を再発見、再構築しながら新しい魅力をまた構築しまして、若い世代や子育て層が魅力を感じ定住する流れを生み出すような人口増加につながるまちづくりを推進することをプランのほうにも掲げているところです。

最後に、西部エリアでありますけれども、こちらのほうは築港エリアですが、平成30年3月にも築港・天保山まちづくり計画を策定しておりまして、こちらの計画に基づく取組を推進することとしますが、築港・天保山エリアにつきましては、港町としての個性ある居住エリアとしての魅力や海遊館をはじめとする観光集客拠点やクルーズ船が今後ますます増加するといったところをまちづくりの資源として捉えておりまして、暮らす、遊ぶ、働くという観点から、自由なライフスタイルの組立て方を見える化し、発信する、エリア外からの来訪者の増加や定着を狙う、起業・創業しやすく継続しやすい環境をつくることをまちづくりの方針として、これに基づく施策を今後も取り組みたいと考えているところです。

以上になります。

○五十嵐総合政策担当課長 最後に4番でございます。総合政策担当課長の五十嵐より説明をさせていただきます。

地域の区域にある掲示板についてのご質問ですが、地域には港区役所が管理しているものと、それから町会などが管理しているものと2つありまして、区役所のほうの管理についてご説明をさせていただきます。

当区が管理しています広報板につきましては、港区の広報板使用要綱に基づきまして、大阪市の行政情報や地域コミュニティーの増進に役立つ情報などを掲載したポスター、チラシなどを掲出することとしております。

従いまして、地域で実施される防災学習会や避難訓練などは、この規定に合致するものであると考えますので、私どもの総合政策担当のほうに申請をいただきましたら、審査会はあるんですけども、その後、掲出できるものと考えられます。ただし、広報板のスペースが限られておりますので、本市の事業に関するチラシなどが優先されます。空きがあればということになっておりますので、よろしくご理解をお願いいたします。

また、掲出の際につきましては、申請者ご自身で掲出、管理、撤去もさせていただきますので、こちらのほうもご理解いただきますようよろしくお願いいたします。

以上です。

○山岸議長 ありがとうございます。

何かこの件でご質問のある方はございますでしょうか。

では、最後の質問のすみません、掲示板の件なんですけれども、もしもこういうものを掲示したいですという、避難訓練の掲示をお願いしたいんですと言いましたら、大体どれぐらいかかるものなんでしょうか。1日、2日ですぐ出るものなんでしょうか、オーケーが。結構時間がかかるんですかね。

○五十嵐総合政策担当課長 できるだけ早くはさせていただきますが、定例の審査会が2週間に1回ぐらいなんです。ただ、それはあくまで定例なので、急ぐ場合は持ち回りでさせていただきます。

○山岸議長 ありがとうございます。

すみません、私の話ばかりで申し訳ないんですけれども、やはりご高齢の方は一番その掲示板、この広報をしっかりと見られていますので、ここに昨日もお知らせしたんですけれども、そういういろんな訓練ですとか防災学習会を貼らせてもらいましたら、きっとまた参加する人数が変わってくるかなと思ひまして、どれぐらい早くから申し込ませてもらったらいいかなと思ひて今回ちょっと質問させていただきました。ありがとうございました。

ほかにどなたかいらっしゃいませんか、ご質問のほう。

それでは、全体を通してご意見、今もちょっとすみません、時間を飛ばさせてもらったかもしれないけれども、もう少しこういうところを聞きたかったなというところがございましたら、ご質問していただいて結構です。

どうぞ。

○中西委員 八幡屋の中西です。

以前というか、2月に八幡屋のほうで防災訓練させていただいて、そのときに70名の方からアンケートをいただきました。その中なんですけれども、アンケートの中で、さすがに八幡屋に言っているアンケートではないなと、恐らく区役所に対しての言ってくださいという形のものが書いてあったので、さすがに八幡屋、それ多分、他地域の方だと思うんですね。そこを窓口はあるはずなんですけれども、ただ窓口に言っても聞いていただけないから、八幡屋に出されたのか分からないんですけれども、その意見を八幡屋としてはさすがにオープンで言えないので、また区役所のほうでも意見を吸い上げていってあげたいな、ほしいなというところだけをお願いしたいと思ひます。すみません。

○西堂協働まちづくり推進課長 ご意見ありがとうございます。またちょっと個別に内容を教えていただきましたら、対応させていただきます。よろしくお願ひします。

○山岸議長 ありがとうございます。

それでは、本日、皆さんからいろんなご意見をいただきまして、まだお話を伺っていない方はぜひともお話を伺いたいと思うんですけれども、原田さんはいかがでしょう。何か今日。

○原田オブザーバー 僕は水防のほうですから、あまり意見ないです。

○山岸議長 今回の能登半島の地震を見られまして、何か感じることはございましたでしょうか。

○原田オブザーバー 港区は割かしそういう防災のあれはちゃんとできていると思います。

○山岸議長 ありがとうございます。

オブザーバーの方にもお話しいただきました。ウェブの方にも伺ったほうがよろしいでしょうかね。ウェブで参加されている皆さん、
ありがとうございます。

それでは時間も参ったようですので、本日は皆様のご協力をいただきまして、スムーズに会議の運営ができました。また、一言ずつ、それ以上にいろいろご意見やニーズを伺って、大変よかったかなと思います。

これからも区民の意見やニーズを区政に反映していくために、区政会議の運営にご協力のほうまたよろしく願います。

それでは、進行を区役所さんのほうにお返ししたいと思います。

○扇谷協働まちづくり担当課長代理 山岸議長、議事進行ありがとうございます。

また、委員、関係者の皆様、会議運営にご協力いただきましてありがとうございます。

議事とは別になりますが、1点、事務局のほうから連絡事項がございます。どうぞよろしく願います。

○五十嵐総合政策担当課長 事務局からの連絡です。

お手元に本日と3月7日の全体会議のアンケート用紙を置かせていただいております。大変お手数ですが、全体会議終了後に併せてご提出をいただきますようお願いいたします。

なお、後日、メールでも同じものを送らせていただきますので、そのメールへの返信でも全然構いません。こちらのアンケート用紙は24区全体で実施しているものですので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

以上です。

○扇谷協働まちづくり担当課長代理 ありがとうございます。

最後になりますが、今ご案内がありました全体会議につきましては、来週3月7日の木曜

日、午後7時より、同じくこの場所におきまして開催する予定でございます。

お忙しいところ恐縮ですが、ご出席くださいますようお願いいたします。

本日使用いたしました資料につきましては、全体会でも使用いたしますので、お手数ですが、ご持参いただきますよう併せてよろしくお願いいたします。

それでは、これをもちまして令和5年度第2回港区区政会議安心安全・まちづくり部会を終了させていただきます。

本日は長時間どうもありがとうございました。